

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	1-3-1	事業名	首都圏シティPR事業
担当	総務局東京事務所 水野 03-3216-5090		
全体計画（当初）			
事業内容	各種メディアの有効利用による札幌のPR（レベルアップ） 公共交通機関、ビル壁面、旅行情報誌、旅行会社パンフレット等の様々なメディアを有効に活用し、首都圏における札幌の一層のイメージアップを図るとともに、核となる東京事務所の情報発信機能を充実させる。 首都圏における観光集客イベントの開催（継続） 首都圏の集客力・認知度の高い地域において、札幌の新しい観光資源やイベント等をPRするイベントを実施する。		<年度別の事業内容> 【H16年度】 イメージ広告等の掲出（公共交通機関広告制作掲出）、観光集客イベントの開催 【H17～18年度】 イメージ広告等の掲出（公共交通機関広告制作掲出、旅行情報誌等の紙面の買取）、観光集客イベントの開催
	事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算） 山手線トレインチャンネルを利用したシティPRの実施 10月の1か月間、JR山手線の車両内に設置されている映像メディアを利用し、札幌の観光や食に関する映像を放映することにより、山手線の乗客に対して効果的なシティPRを行った。 観光集客イベント 10月23日（土）、24日（日）の2日間、集客力、認知度の高い台場パレットプラザを会場に、首都圏に在住する不特定多数を対象として、観光資源等を中心に札幌の魅力を紹介するイベントを開催し、札幌への関心を高めるとともに誘客に努めた。2日間の来場者数は約10万人。 【決算額】 23,878千円	平成17年度事業内容（決算） 山手線トレインチャンネル 1日の乗降客数340万人の山手線において、10月10日～11月6日にシティPR映像（テーマは食、アート）を、また観光部と連携し、11月14日～27日でサイレントCMコンペティションの入賞作品を放映した。 観光集客イベント 10月22日（土）・23日（日）の2日間、前年度に引き続きお台場パレットプラザでラーメン・スープカレー・ジンギスカンの販売や、市長と安住アナとのクロストーク、マギー・審司のマジックショーなどを実施、観光部や農務部、小樽市も連携してブースを出展。また、会場からラジオの生中継を行い、放送エリア全体（東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城）に札幌の観光情報をPRした。来場者数8万人。 公開講座「さっぽろ学」 当初予算なし 東京事務所開設50周年を記念し、中央大学駿河台記念館（千代田区）で11月の毎土曜日に食・夏・アート・冬をテーマに90分の講座を開講。公募の首都圏在住者100名が毎回参加。 【決算額】 25,887千円
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算） 各種メディアの有効利用による札幌のPR 山手線トレインチャンネルを利用して10月2日～11月26日の8週間、FISノルディックスキー世界選手権やスイーツをテーマに札幌の観光PR映像を放映した。 首都圏における観光集客イベントの開催 10月28日（土）、29日（日）の2日間、お台場・パレットプラザで開催。FISノルディックスキー世界選手権をテーマに原田雅彦のトークステージやさっぽろスイーツのカフェテリアなどで札幌をPRした。来場者数7万1千人。 有楽町駅前でのシティPR 東京事務所が入居する東京交通会館で実施。 ・7月9日（日）は、リンケージ・アップフェスティバルやさっぽろ夏まつりなど夏のイベントをテーマに、2600点のグッズの配布や札幌スタイル認証品の販売、抽選会を開催。 ・11月23日（木・祝）は、FISノルディックスキー世界選手権や雪まつりなど冬のイベントをテーマに1000点のグッズ配布や抽選会を開催。 【決算額】 26,008千円	評価（成果） 1日の乗降客数340万人の山手線の電車内で映像を放映する「山手線トレインチャンネル」や、都内の人気スポットであるお台場パレットプラザでの観光集客イベントを実施し、観光情報を中心に首都圏でのPR活動を実施した。 また公開講座「さっぽろ学」は、計4回の講座で札幌の歴史や文化を紹介するユニークな企画だったが、マスコミからも注目を浴び、首都圏の新聞などにも掲載された。 課題 マーケットが大きい首都圏でのシティPRは、高い効果を期待できる反面、手間や経費も大きくなる。より効果的に札幌の都市イメージや観光資源がPRできるよう費用対効果考えた事業展開が必要となる。	
<p>観光誘客はもとより、札幌の都市イメージや札幌ブランド発信のためには、首都圏でのシティPRが今後さらに重要と推測される。現在の経費水準を維持しながら、高いPR効果を得られるよう、内容や実施方法などを検討し、継続して事業を行っていく。</p> <p>19年度の事業予定としては、映像メディアによるPRや観光イベントは場所・内容・手法を検討しながら実施。 有楽町駅前でのシティPRは、銀座という地域がら、都内在住で購買意欲が高い層を中心に効果的にPRができる、比較的手軽かつタイムリーにPRでき、札幌の担当部局からのニーズが高い。以上から19年度も継続して実施する。</p>			

